

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 2 総務費	課・係名					
基本目標		活力いっぱいの集落・村づくり	施策	村民と協働による村づくり	項 1 総務管理費	総務課					
					目 6 企画費	政策情報係					
事業通番 121602	事業名	村づくり推進事業			予算額			決算額			
	事業目的	地域リーダーの養成、地域コミュニティ活動の促進に必要な事業を進め、第6次総合振興計画の基本構想である「これからの農村を生きる-みんなで楽しみをつくりだす村-」の実現を図る。			事業費	4,797	▲ 658	4,139	事業費	3,202	
			財源内訳		国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金	
					県支出金		0			県支出金	
					地方債	1,000	0	1,000		地方債	900
					その他	1,800	0	1,800		その他	1,800
					一般財源	1,997	▲ 658	1,339		一般財源	502
事業の内容及び成果・今後の課題											
内容	事業費(円)	内容・成果				今後の課題					
協働のむらづくり推進事業	956,000	以下の4団体に補助金を交付 ①木島平村社会福祉協議会 150,000円 ②木島平村健康づくりサポートチーム 162,000円 ③高石区 200,000円 ④NPO太陽と水と緑のプロジェクト 444,000円				地域の活力を生み出す発展性及び継続性のある事業を対象として支援しているが、団体が利用しやすい制度となるよう支援金の上限や補助率などの見直しを検討する必要がある。					
早稲田大学地域連携ワークショップ	195,332	R5テーマ【木島平村を今よりもっと「移住したくなる」村に！～SNSを活用した木島平村の知名度アップ作戦を考えよう～】 10人の学生が2チームに別れ、現地調査、住民へのインタビュー等を通じて、テーマに対して、個性的な提案を行った。				提案内容の具現化及び参加者との継続的な関わりが課題。					
コミュニティ助成事業	1,800,000	祭具を整備や防災用品を調達する主な助成金になっている。新調した祭具や防災用品は、区内の活力の象徴となり得る。地域活力に即効性のあるきわめて有効な事業。 【実績】発電機付投光器（小見区）300,000円 祭り田織ポール（稲荷区）1,500,000円				近年、宝くじの売り上げ減少により財源が乏しく、採択が1事業の年もある。地域の活力維持に貢献する事業であるため順番決め等を公平に行い、適正な執行を期していく。					
フラワーロード	98,425	・資材購入、菜の花粉碎作業、花壇整備代 ・花苗、ボランティアお茶等は北信建設事務所が負担した。				・村民との協働のむらづくりとしての事業であるが、参加者は年々減少傾向にある。					

計画関係	64,250	・全国過疎連盟会費、全国ダム・発電協議会負担金	引き続き組織に加入し、各種計画の推進を図る。
総合戦略推進委員会	22,790	年1回開催（11/22）。委員会の開催時期の変更により1回のみで開催となった。（3月→7月） 第2期総合戦略について、効果検証を実施。 委員報酬18,200円 推進委員会お茶4,590円	引き続き委員会を定期的で開催し、進捗管理を図る。 第3期総合戦略策定に向けて検討を進める
その他	65,826	職員旅費 各種イベント消耗品他	
合計	3,202,623		

活動指標	項目					成果指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	協働のむらづくり支援金周知媒体数	媒体	4	4	100%		協働のむらづくり支援金採択件数	団体	5	4	80%
	早稲田大学地域連携ワークショップ	回	1	1	100%		大学連携による関係人口	人・泊	200	198	99%
					#DIV/0!						#DIV/0!

担当評価

評価の根拠・説明・考察

B

村づくりや地域活動を実施する団体への支援を実施し、一定の効果は見られるが、より幅広く活発な活動を支援するため支援制度の検証と見直しを必要がある。  
早稲田大学地域連携ワークショップの提案は、移住定住体験キャンペーンとして事業化することができた。

評価委員評価

公共性

B

公平性

B

有効性

B

効率性

B

総合評価  
(妥当性)

B

・大学連携事業の提案実践の部分に課題か

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	2 総務費	課・係名			
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	農村環境を活用した産業の創出		項	1 総務管理費	総務課	
				目	6 企画費	政策情報係			
事業通番	事業名	姉妹都市交流促進事業		予算額			決算額		
121605				当初予算額	増減額	予算現額			
事業目的	姉妹都市交流の更なる発展・深化のため、木島平村の歴史・生活・文化等を調布市民に広く知っていただくとともに、本村住民による調布市の理解増進も促進し、双方にとってより良い姉妹都市交流となるよう各種事業に取り組む。	事業費	3,322	178	3,500	事業費	3,110		
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金		0			県支出金	
			地方債		0			地方債	
			その他	40	0	40		その他	49
			一般財源	3,282	178	3,460		一般財源	3,061
事業の内容及び成果・今後の課題									
内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題					
姉妹都市交流事業	494,735	・調布市農業まつりに併せて、い〜なか交流フェスタとして抽選会を実施した。 ・6年ぶりとなる調布市花火大会観覧ツアーを実施した。		参加イベントの見直しと新たな交流（人・場所）の検討。					
姉妹都市職員交流事業	385,683	・調布市の新人職員研修へ村職員が参加した。 ・調布市部対抗スポーツ大会へ村職員が参加した。		担当課だけでなく、全庁的に交流ができる機会の造成。 令和7年度に控える姉妹都市盟約40周年事業の検討。					
調布・木島平交流倶楽部	280,448	6月の春の田植えツアー、10月の秋の稲刈りツアー、11月の晩秋りんご狩りツアーで延べ67人が来村し、村のファンづくりと草の根レベルの交流推進につながっている。 会員及び同行者が村内宿泊施設を利用した際に宿泊助成を実施した。利用：112件		交流クラブと友の会の交流を検討。					
調布友の会	114,338	令和5年7月に「調布友の会」設立総会を実施。調布に遊びに行こうがコンセプト。58人の入会があった。12月には深大寺そば祭りに併せてバスツアーを開催し、13名の参加があった。		交流クラブと友の会の交流を検討。					
調布市派遣職員	1,834,483	都市住民ニーズを把握するとともに、市役所との連携強化を図り、姉妹都市交流の更なる発展のため職員一人を交流推進員として調布市に派遣した。調布市とのパイプ役として重要な役割を担っている。							
合計	3,109,687								

活動 指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果 指標	項目	単位	目標	実績	達成度		
		い～なか交流フェスタの開催	回	1	1		100%		交流クラブ新規会員の獲得	人	5	16	320%
		クラブ員向けツアーの開催	回	3	3		100%						#DIV/0!
							#DIV/0!						#DIV/0!
担当評価		評価の根拠・説明・考察											
A		交流クラブ主催ツアーへの参加者が多く、新規会員になる方が多かった。また、宿泊助成の利用も多く、調布市民が来村する機会を創出できている。 い～なか交流フェスタは調布農業まつりに併せて実施し、抽選会や酒の試飲等を行った。今後実施の可否や内容について見直す必要がある。											
評価委員評価													
公共性		B		総合評価 (妥当性)	B								
公平性		B											
有効性		B											
効率性		B											

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	2 総務費	課・係名				
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	農村環境を活用した産業の創出		項	1 総務管理費	総務課		
				目	6 企画費	政策情報係				
事業通番	事業名	ふるさと応援団木島平会事業		予算額			決算額			
121606				当初予算額	増減額	予算現額				
事業目的	村出身者の会員との交流や親睦を図るとともに、調布・木島平交流クラブや早稲田大学公認サークル「わせだいら」等村を応援する団体との連携を深め、ふるさとの活性化に資する活動を行う。	事業費		835	0	835	事業費	656		
		財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金			0		財源内訳	県支出金	
			地方債			0		財源内訳	地方債	
			その他	75	0	75	財源内訳	その他	68	
一般財源	760	0	760	財源内訳	一般財源	588				
事業の内容及び成果・今後の課題										
内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題						
会議開催費	301,444	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催（6/17）参加者33人</li> <li>・新年親睦会の開催（1/20）参加者30人</li> <li>・役員会の開催2回（4/7, 12/8）</li> </ul>		会員の高齢化が最大の課題であり、役員と共に問題を認識している。役員の若返りを図っているが、更なる新規会員の勧誘や20～40歳代の若手の勧誘も含めて検討を進める。						
木島平村応援団体活動支援	160,000	会員及び同行者が村内宿泊施設を利用した際に宿泊助成を実施した。利用：80件								
郵送料	194,644	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会報（毎月発行）郵送料</li> <li>・事務消耗品</li> </ul>								
合計	656,088									

活動 指標	項目					成果 指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	総会・新年会の懇親会開催	回	2	2	100%		ふるさと応援団新規会員の確保	人	5	4	80%
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	令和2年度から新型コロナの影響で開催できなかった総会・新年会を4年ぶりに開催した。出席人数はコロナ禍前とほぼ変わらず、新規会員の勧誘にもつながった。高齢化が着実に進み、新たな会員の獲得方法について抜本的な改革が必要な状況となっている。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の高齢化により、活動が総会のみとなっていないか</li> <li>・学卒者など若年層の取り込みを検討されたい</li> </ul>							
公平性	B										
有効性	C										
効率性	C										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	2 総務費	課・係名		
基本目標		人と地球にやさしい村づくり	施策	環境にやさしい未利用資源の利用促進		項	1 総務管理費	総務課		
						目	6 企画費	政策情報係		
事業通番 42017	事業名	ゼロカーボン推進事業			予算額			決算額		
					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	木島平村地球温暖化対策実行計画に基づき二酸化炭素の排出量の削減を目指す。			事業費	25,499	▲ 19,753	5,746	事業費	5,051
					財源内訳			財源内訳		
					国庫支出金		0	国庫支出金		
					県支出金	225	0	225	県支出金	150
					地方債	9,700	▲ 7,800	1,900	地方債	1,900
					その他	4,000	▲ 2,000	2,000	その他	2,000
					一般財源	11,574	▲ 9,953	1,621	一般財源	1,001
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題					
ゼロカーボンイベントの開催【政策情報係】	21,958	10月28日(土) ※9月2日実施予定であったが参加者が集まらなかったため、村民祭に合わせて実施。 体験：ソーラーカーを作って遊ぼう 参加者21人 ポスター印刷費6,358円、イベント消耗品15,600円			住民に興味を持ってもらえる内容の検討。 子どもが参加したくなる、楽しめるイベントの検討。					
木島平村役場庁舎太陽光発電設備設置工事に係る設計業務【政策情報係】	2,200,000	役場庁舎への太陽光発電設備設置工事に向けた設計を実施。			財源の確保が課題。現状は避難施設等に指定されている施設が対象の補助金を活用予定であるが、ハードルが高い。					
太陽光発電施設設置補助金【政策情報係】	750,000	太陽光発電と蓄電池設置に対して補助金を交付。実績3件。			R6年4月から新築、既存の住宅問わず申請できるよう要綱を改正した。 住民の太陽光発電に対する意識啓発が必要。					
会議資料のペーパーレス化【政策情報係】	264,000	オンラインで会議資料を共有できるシステムを導入し、一部の業務についてペーパーレス化を図った。			システムの積極的な活用					

薪ストーブ 購入補助金 【農林係】	357,000	化石燃料の使用低減と間伐材の有効利用を図るため、薪ストーブ本体の購入経費に対し、補助をした。 (1/2以内、限度額100,000円) 【対象者】 4人 【補助金額】 357,000円	薪ストーブ使用によって削減される温室効果ガスや利用する薪（木材）の炭素貯蔵量を把握することで効果を実証することも必要。
ペレットストーブ購入補助金 【農林係】	200,000	県産木材利用促進のため、ペレットストーブの購入及び設置に係る経費に対し、補助をした。 (10/10以内、限度額100,000円) 【対象者】 2人 【補助金額】 200,000円（内県補助150,000円） 【ペレット使用量】 1,800kg/年	薪ストーブの方が需要がある傾向のため、ペレットストーブのメリットを整理し、PRすることで事業の有効性を高める。また、県事業の枠も少ないことから森林環境譲与税を活用した村単独の補助事業化の検討も必要。
農業生分解性マルチ購入補助 【農林係】	338,803	環境負荷低減農業を推進するため、生分解性マルチの購入経費に対し、補助をした。 (1/4以内) 【対象者】 16人 【補助金額】 338,803円 【使用面積】 0.95m×200m×220本=41,800㎡	通常のマルチと違って自然分解されることから廃棄処理量を減らすことができ、環境負荷の低減につながる。また、作業の省力化にもつながり経営規模の拡大や農業所得の向上が図られる。ただ、通常マルチよりも高価であるため、利用促進には引き続き、補助が必要。 (畑作農家支援策として)
木島平村住宅リフォーム協議会補助金 【農村整備係】	855,000	木島平村住宅リフォーム推進協議会に補助金を交付。住宅の断熱化リフォームの工事費の1/5を補助（上限100千円） 実績：9件 ・浴室脱衣室断熱化工事3件（補助金：300,000円） ・居室内窓設置工事5件（補助金：455,000円） ・居室二重サッシ交換工事1件（補助金：100,000円）	複層ガラスへの交換や、内窓の設置により断熱化を図るもの。近年の新築住宅はほとんどが要件を満たしており、これからはターゲット（旧基準の住宅）をしぼった周知も必要。主に過ごす部屋や寝室、脱衣室浴室など単体の断熱化でも対象となることの周知。
議会資料ペーパーレス化 【議会事務局】	63,800	情報共有グループウェアを活用し、従来紙媒体で発行していた会議等開催通知、情報伝達、及び、簡易な資料等についてペーパーレス化を図った。	議会資料についてもペーパーレス化を検討していきたい。
合計	5,050,561		

■課題及び今後の取組

進捗管理に関して、村で村内の数値等を計算することが困難であり、国からの情報にもタイムラグがあることから、実績値の反映がしづらい。



活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	公共施設太陽光設備導入	箇所	1	0	0%		村実行計画事務事業編のCo2排出量 (R12目標/R4実績)	t-CO2	926	1,059	87%
	ゼロカーボンイベントの開催	回	2	1	50%		村実行計画区域施策編のCo2排出量 (R12目標/R2実績)	t-CO2	18,000	25,000	72%
	断熱化リフォーム件数	件	10	9	90%						
	薪ストーブ購入補助金	件	5	4	80%						
	ペレットストーブ購入補助金	件	3	2	67%						
	生分解性マルチ購入補助	件	20	16	80%						
	会議開催通知のペーパーレス化削減数	通	140	140	100%						

担当評価	評価の根拠・説明・考察
B	<p>【政策情報係：B】  役場庁舎への太陽光設備に係る設計を実施した。令和6年度以降の設置工事を行う。  ゼロカーボンイベントは子供向けの内容とし、村民祭と併せて実施した。単独での実施は参加者が集まらないため内容の検討を行う。</p> <p>【農村整備係：B】  断熱化リフォームについて概ね目標の件数を達成している。浴室及び脱衣室、居室一部屋など要所の断熱化を進めることができ、事業を継続することで、住環境の向上とCO2削減の取組が推進される。</p> <p>【農林係：B】  薪ストーブやペレットストーブの推進と導入により、化石燃料の使用削減につながった。また、自然分解資材の使用による環境負荷の低減及び作業の省力化による温室効果ガスの抑制が図られた。事業実施による効果を数値などより具体的に示すことで意識の紅葉と更なる普及促進につながる。</p> <p>【議会事務局：B】  目標、実績については、数字で明確に示せる通知のみになりますが、各種資料等も情報共有グループウェアを活用しペーパーレス化を図り、資源の節約につながった。</p>

評価委員評価				
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 121802	第6次総合振興計画		款 2 総務費	課・係名				
	基本目標	計画に記載なし	項 1 総務管理費	総務課				
		施策	目 9 広報公聴費	政策情報係				
	事業名	情報発信事業	予算額					
		当初予算額	増減額	予算現額				
事業目的	村からの情報発信を図るため、村公式ウェブサイトの適正な管理を行う。	事業費	3,486	0	3,486	事業費	2,931	
		財源内訳	国庫支出金	0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金	0			県支出金	
			地方債	0			地方債	
			その他	32	0	32	その他	
			一般財源	3,454	0	3,454	一般財源	2,931
事業の内容及び成果・今後の課題								
	内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題			
	ライブカメラ活用事業	218,680	ウェブサイトを確認できるウェブカメラの管理に努めた。 【インターネット接続料】 99,000円 【ウェブカメラ更新】 119,680円		現在、スキー場ゲレンデと庚の移住体験住宅にライブカメラを設置している。スキー場のウェブカメラについて、村の景色が見えるよう向きを変更した。			
	村公式ウェブサイト管理運営事業	2,173,287	村公式ウェブサイトの保守とともに、ウェブサイト研修会の講師について委託を行った。また、誰からも見やすいウェブサイトとなるよう、リニューアルを行った。 【保守経費】 505,780円 【ウェブアクセシビリティ対応改修】 1,667,507円		リニューアルしたウェブサイトにおいても、より魅力的で見やすいウェブサイトとなるよう係内で改善チームを編成し見直しを進める。			
	村公式LINE導入事業	538,800	村の情報発信をより便利に受け取りやすくするため、LINEを活用する。		令和5年度末時点で1,653人ほどの登録があるが、さらなる周知を行い登録人数を増やす。			
	合計	2,930,767						

活動 指標	項目					成果 指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	LINE登録者増のための取組	取組	3	3	100%		村公式ウェブサイトの訪問総ユーザ数 前年対比	%	120	107	89%
							LINE登録者数 前年対比	%	120	123	103%
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	トップページ訪問総ユーザ数はR4…55,670人、R5…59,865人となった。今後も見やすいウェブサイトへの改善を図っていく。LINE登録者数はR4…1,347人、R5…1,653人となった。引き続き登録者増のための取組を進める。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の方法及び内容についてさらなる改善が必要</li> <li>・あらゆる機会を捉えて機動的な情報発信を望む</li> </ul>							
公平性	B										
有効性	C										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 2 総務費		課・係名			
基本目標		計画に記載なし	施策		項 1 総務管理費		総務課			
					目 9 広報公聴費		政策情報係			
事業通番	事業名	広報広聴事業			予算額			決算額		
121803					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	広報誌による住民への行政施策などの情報発信と、住民意見の反映			事業費	3,125	0	3,125	事業費	2,532
			財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金	
				県支出金		0			県支出金	
				地方債		0			地方債	
				その他	158	0	158		その他	286
				一般財源	2,967	0	2,967		一般財源	2,246
事業の内容及び成果・今後の課題										
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
	広報誌作成事業	2,317,807	月一回発行の広報誌にて行政情報等の発信に努めた。第5巻となる縮刷版を作成した。			魅力的な広報誌になるよう他の広報誌を参考にし、日本広報協会による研修に参加する。				
	村特製年賀はがき作成事業	149,100	村のPRのため、村特製年賀はがきを作成し販売した。(2000枚)			デジタルの普及により年賀はがきの需要が年々落ち込み、事業当初の目的が果たせなくなってきたため費用対効果も考慮しR7年から廃止する。				
	その他	65,198	業務に必要な消耗品を購入した。(広報PC用キーボード、カメラ三脚、マウスなど)							
	合計	2,532,105								

活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	村広報誌の発行	回	12	12	100%		地区づくり懇談会の開催	地区	10	9	90%
					#DIV/0!						#DIV/0!
					#DIV/0!						#DIV/0!

担当評価	評価の根拠・説明・考察
B	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、地区づくり懇談会はコロナ前の開催回数に戻りつつある。

評価委員評価				
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	・地区づくり懇談会の開催区増加に向け対策を検討されたい。
公平性	B			
有効性	B			
効率性	C			